

「ランチョンセミナー19」のご案内

日本臨床検査自動化学会第46回大会において、ランチョンセミナーを開催します。皆様のご来場をお待ちしております。



糖尿病診療の最前線

— 検査指標 (HbA1c) を絡めて —



矢富 裕 先生

(東京大学大学院医学系研究科
臨床病態検査医学)



窪田 直人 先生

(東京大学大学院医学系研究科
糖尿病・代謝内科 病態栄養治療部)



2014年 10月11日(土)

12時10分～12時50分



第Ⅷ会場

(神戸国際会議場5F/504+505号室)




本ランチョンセミナーは整理券制です。
詳細は第46回大会ホームページをご覧ください。



同開催日に神戸国際展示場にて、「JACLaS EXPO 2014」が開催されます。

共催

日本臨床検査自動化学会第46回大会

 東ソー株式会社

TOSOH

テーマ 糖尿病診療の最前線—検査指標(HbA1c)を絡めて—

座長 矢富 裕 先生(東京大学大学院医学系研究科 臨床病態検査医学)

講演者 窪田 直人 先生(東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科 病態栄養治療部)

要旨 近年、新規の糖尿病治療薬が相次いで臨床応用され糖尿病治療が変わろうとしている。インクレチン関連薬は、血糖依存性にインスリン分泌を増幅させることで、インスリン分泌能を改善し血糖値を低下させるのみならず、動物モデルでは、膵β細胞保護・増殖作用が報告され、2型糖尿病の進行を食い止め長期にわたる安定した血糖コントロールを実現できる可能性が期待され、その使いやすさも相まって最近非常に多くの症例に使用されている。また本年の4月にはこれまでにない全く新規のクラスの糖尿病治療薬SGLT2阻害薬が承認され、本年度中には同クラスの薬剤が6つ登場しようとしている。本セミナーでは、こうした新規糖尿病治療薬を中心に、2型糖尿病の病態とそれをふまえた薬物治療について発表したい。

「JACLaS EXPO 2014」展示会のご案内

会期

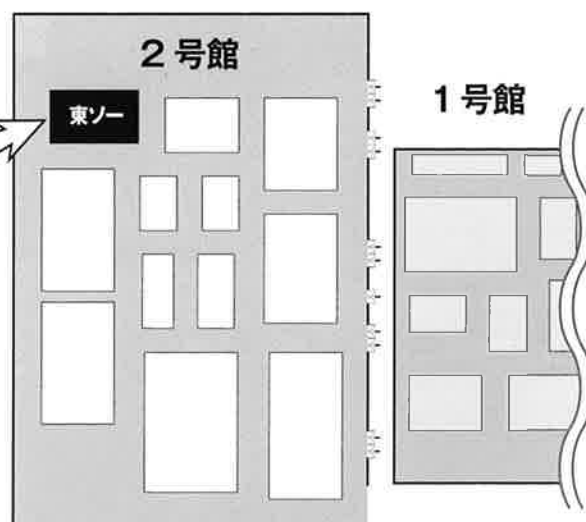
2014年 10月 9日(木) 13:00~17:00
10月 10日(金) 9:30~17:00
10月 11日(土) 9:30~14:00

会場

神戸国際展示場 2号館
東ソーブース No. B-5

出展品

- 全自動エンザイムイムノアッセイ装置 AIA-900 他
- 酵素免疫測定試薬 Eテスト「TOSOH」IIシリーズ
- 自動グリコヘモグロビン分析計 HLC-723GX 他
- 自動リポ蛋白分析計 HLC-729LPII
- 自動遺伝子検査装置 TRCReady-80



東ソー株式会社
バイオサイエンス事業部

東京本社 ☎(03)5427-5181
名古屋支店 ☎(052)211-5730
仙台支店 ☎(022)266-2341
バイオサイエンス事業部ホームページ

大阪支店 ☎(06)6209-1948
福岡支店 ☎(092)781-0481
山口営業所 ☎(0834)63-9888
<http://www.tosoh.co.jp/science/>